

令和8年度

「運営に関する計画」



大阪市立南百済小学校

令和8年4月

## 1 学校運営の中期目標

**現状と課題**・・・令和7年度の結果から

**【安全・安心な教育の推進】**

小学校学力経年調査(以下経年調査)・校内調査における「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を95%以上にすることを目標にしていた。しかし、前年度の経年調査では92%・校内調査では94.3%と目標を下回った。児童の情報共有はできているため、これからどのようなアプローチをしていくのか考え実行していく必要がある。また、今後も年2回継続していじめに対する研修や授業を計画的に行っていく。そして、いじめが認知された場合は、すぐに解消に向けて対応していく。

校内調査における「自分には、よいところがあると思いますか」という質問項目に対して、肯定的な回答をする児童の割合は、88%と目標である94%を下回った。引き続き、自尊感情が向上するような取組を行い、道徳や他教科の授業の際に、児童の意見を大切に尊重していく。また、学校だけでなく、家庭・地域と連携した取組が必要である。

**【未来を切り拓く学力・体力の向上】**

「小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.5ポイント向上させる」という目標に対して、達成した学年と達成できなかった学年があった。前年度の結果を踏まえて課題となる領域を分析し、次年度は重点的に指導していきたい。

「小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.5ポイント向上させる」という目標に対して、達成した学年と達成できなかった学年があった。算数科も国語科と同様に、前年度の結果を踏まえて課題となる領域を分析し、本年度は重点的に指導していきたい。

「ソフトボール投げの記録を、1学期と2学期にそれぞれ計測して児童全体の50%以上向上させる」という項目に対して、児童448名中269名の記録が向上し(約60%)目標を達成することができた。引き続き、各学期に1回ソフトボール投げの記録の計測をするとともに、「ボールの投げ方」に関する指導法を教員間で共通理解を図っていく。

**【学びを支える教育環境の充実】**

「授業日において、児童の8割以上が学習者端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする」に対して、前年度の結果は16.9%だった。引き続き学習者端末を様々な場面で活用していく。また、端末活用について異学年の教員と実践事例を共有するとともに、研修の機会を設けることで、授業改善につながる活用の定着を図っていく。

「教員の一人当たり平均時間外勤務時間において、大阪市平均との差を10分縮める」に対して、前年度は5時間以上と大きく差が開く結果になった。行事への取組について見直しを行い、教職員の負担軽減や業務の効率化を進め、働きやすい環境づくりを推進していく。

令和7年度校内調査における「読書は好きですか」という質問に対して、肯定的に回答する児童の割合を79.7%で目標の80%を下回る結果となった。そして、令和7年度校内調査における「学校図書館貸出冊数(児童1人当たりの年間貸出冊数)『昨年度23冊』を23冊以上にする」に対して、結果は約25冊だった。今後も引き続き図書に関する取組を行い、読書習慣の定着を図っていく。

## 中期目標

### 【安全・安心な教育の推進】

- いじめ対応に係る「振り返りチェックシート」における「『大阪市いじめ対策基本方針』に基づいたいじめ対応を行っている」と回答する教員の割合を95%にする。
- 令和11年度年の小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86%以上にする。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント向上させる。
- ソフトボール投げの記録を、1学期と2学期にそれぞれ計測して児童全体の50%以上向上させる。

### 【学びを支える教育環境の充実】

- 令和11年度の小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童を35%以上にする。
- 本校の教員の一人当たり平均時間外勤務時間を大阪市平均と比較し、その差を1時間縮める。  
(令和7年12月時点 +5時間51分)
- 毎年校内調査における「読書は好きですか」という質問に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

### 学校園の年度目標

#### 【安全・安心な教育の推進】

- いじめ対応に係る「振り返りチェックシート」における「『大阪市いじめ対策基本方針』に基づいたいじめ対応を行っている」と回答する教員の割合を90%にする。
- 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を84%以上にする。(令和7年度83.7%)

#### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント向上させる。
- ソフトボール投げの記録を、1学期と2学期にそれぞれ計測して児童全体の50%以上向上させる。

#### 【学びを支える教育環境の充実】

- 令和8年度の小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童を25%以上にする。
- 本校の教員の一人当たり平均時間外勤務時間を大阪市平均と比較し、その差を10分縮める。
- 校内調査における「読書は好きですか」という質問に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

(様式2)

大阪市立南百済小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【安全・安心な教育の推進】</b> ○いじめ対応に係る「振り返りチェックシート」における「『大阪市いじめ対策基本方針』に基づいたいじめの対応を行っている」と回答する教員の割合を90%にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<b>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育の実現】</b> ・「いじめについて考える日」を中心に、各学年の実態に応じた取組を行う。また、教職員研修を実施し、「いじめを絶対に許さない」という共通認識のもと、児童が安心して過ごせる環境づくりを進める。さらに、これらの取組を一過性のものにせず、日常の学級経営の中で継続して、児童のいじめに対する意識を高めていく。	
<b>指標</b> ・1学期に「いじめについて考える日」を実施し、全学級で児童とともにいじめについて考える機会を設ける。 ・教職員研修を年間2回以上実施する。	
<b>取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育の実現】</b> ・日々の児童の様子について、全教職員で情報を記録・共有し、実態に応じた指導や支援が行える体制を整える。	
<b>指標</b> ・日々の児童理解研修の時間を職員会議後に設定し、全教職員で共通理解を図る。 ・課題が見られる場合は、部会やスクリーニング会議等を活用し、早期対応・早期解決につなげる。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
来年度に向けて	

## 大阪市立南百済小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【安全・安心な教育の推進】</b></p> <p>○小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を84%以上にする。(令和7年度83.7%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組内容①【基本的な方向2 豊かな心の育成】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳の授業や日常の教育活動を通して、自分のよさに気づかせる指導を行う。また、「いいところ見つけ」などの活動を継続的に行い、自尊感情の向上を図る。</li> </ul>	
<p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「個性の伸長」に関する授業や取組を、年間を通して計画的に実施する。</li> <li>・帰りの会や授業の中で、「いいところ見つけ」を継続的に行う。</li> <li>・自尊感情を高める取組(自尊感情週間)を全校で実施する。</li> </ul>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
来年度に向けて	

## 大阪市立南百済小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</b> ○小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント向上させる。 ○小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント向上させる。 ○ソフトボール投げの記録を、1学期と学2期にそれぞれ計測して児童全体の50%以上を向上させる。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<b>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</b> ・国語科と算数科において、漢字の読み書きや計算問題などを中心に反復練習を行い、基礎的な能力の向上を図る。	
<b>指標</b> ・週に1回以上navimaや学習プリントを用いた自主学習を取り入れる。	
<b>取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</b> ・各教科で効果的な話し合い活動ができるよう聞き方や話し方を指導し、積極的にペアやグループでの活動を取り入れる。	
<b>指標</b> ・週に5回以上ペアやグループなどで話し合う活動を取り入れる。	
<b>取組内容③【基本的な方向5 健やかな体の育成】</b> ・体育の時間に行うボール運動を中心に、遠投大会などの投げる運動に関する企画や環境の整備を行い、児童が運動に親しむ機会を増えるようにする。	
<b>指標</b> ・年に2回以上、「投」に関する運動に親しむ取組を学年や全校で行う。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
来年度に向けて	

## 大阪市立南百済小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【学びを支える教育環境の充実】</b> ○令和8年度の小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童を25%以上にする。 ○本校の教員の一人当たり平均時間外勤務時間を大阪市平均と比較し、その差を10分縮める。(令和7年度 12月 +5時間51分) ○校内調査における「読書は好きですか」という質問に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。(令和7年度 79.7%)	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<b>取組内容①【基本的な方向6 教育DXの推進】</b> ・各教科の単元指導計画や特別活動、南百済タイムにおける活動を工夫することで、学習者端末を積極的に活用する。	
<b>指標</b> ・毎日1回以上学習者端末を活用する。	
<b>取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</b> ・校務分掌等、仕事の偏りがないようにする。会議を精選し、その在り方を見直す。	
<b>指標</b> ・月に2回ゆとりの日を設定する。	
<b>取組内容③【基本的な方向8 生涯学習の支援】</b> ・学校司書と協力し、読書に対する興味関心を高め、貸出冊数を増やす取組を行う。	
<b>指標</b> ・学期に1回、図書に関する取組を行う。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
来年度に向けて	